

八瀬小学校の皆さんへ

勉強についてのお話の第2回です。3月13日のお話の続きです。

「勉強は、『大人になり、自分らしく生きる』ために必要な力をつけてくれるもの」で、
「勉強には2つの種類があります。」

前の回はそのうちの一つ目『みんながやる勉強』の話をしました。

今日はもう一つの勉強『自分らしさを育てる勉強』のお話です。

『自分らしさを育てる勉強』のお話

みなさんにこの「勉強についてのお話」をしようと思ったのは、この『自分らしさを育てる勉強』のことをお話ししたかったからです。『自分らしさを育てる勉強』はとても楽しいものです。そのことをみなさんに知ってほしいと思っています。

みなさんには、何か気になること（好きなこと・興味のあること）がありませんか？宇宙に興味があったり楽器の演奏をすることが好きだったり、虫がすごく気になったり、ほかにもダンス、イラスト、コンピューター、歴史、剣玉、ものづくり、アニメ、からだのしぐみ、ことわざ、百人一首かるた…などなど、ここになど書き切れないほどいろいろなことが私たちの周りにはあります。そしてどんなことに興味があるかは人によって様々です。

宇宙の始まりには興味があるけれど百人一首かるたには全く興味がないという人もいるでしょうし、将来アニメを作りたいと思っている人もいれば、どれだけ「楽しいよ」とすすめられても「自分にサッカーはちょっと…。」という人もいるでしょう。でもその人だって「おいしくてきれいなケーキを作つてみたい。」と思っているかもしれません。全部OKです。このような『自分の興味のあることや知りたいと思うことをより深く知ろうすること』これが『自分らしさを育てる勉強』です。

ただ、残念なことにこういうことのほとんどは学校ではやりません。そう、自分が本当にやりたい、知りたいことのほとんどは学校にはないのです。ではどこでやるのか。そう、家です。「自宅学習」とか「自由勉強」とかいろんな言い方がありますが、みなさんの多くはそれを『学校でやっている勉強の復習』だと思っているのではないでしょうか。もちろんそういうことも大切です。でも、それだけではなく自分のやりたいこと、知りたいこと

について試したり調べたりなどと言うこともとても大切な勉強だし、その勉強はきっと『自分にとって楽しい勉強』になると思います。

宇宙飛行士になった人は、きっと小学生のころから宇宙のことをいっぱい見たり、調べたりしていたのではないでしょうか。でも、そのほとんどは学校ではなくて自分の自由時間にやっていたはずです。もちろん、将来それを仕事にするかどうかは別として、『自分の自由な時間に自分の好きなことを勉強する。』ことで、『自分をより自分らしく育ててくれる。』ことは間違いありません。

『好きなことをすれば、自分らしさを育てる勉強をしたことになるのか』の話

『自分の好きなことをする。』こととそれが『自分らしさを育てる勉強をしている。』は同じでしょうか？先生はそこに少しの違いがあると思っています。

昨年の8月にある会社が調査した「中学生の将来なりたい職業」についてのアンケート結果で、男子の1位はYoutuber(ユーチューバー)などの動画投稿者、2位はプロeスポーツプレイヤーだったそうです。Youtuber(ユーチューバー)などの動画投稿者は女子の7位にも入っています。

ある子どもがおもしろいユーチューブの動画を毎日何時間もただ見ていました。それはその子にとっての『自分らしさを育てる勉強』になっているでしょうか？確かに『自分の好きなことをしている。』ことにはなっていると思いますが、『自分らしさを育てる勉強』にはなっていません。それはどうしてでしょう。それはそのユーチューブ動画から『自分の考え方』が生まれていないからです。

自分で楽しめてくれる動画を見て、「この動画がこんなに楽しいのはどうしてだろう。」「この動画を撮影するためにはどんな機材が必要なのだろう。」「この動画1本作るのに、どれくらいの費用がかかっているのだろう。」などと言った『自分の心に浮かんできた思いや疑問』をもとにして、それを本気で考えたり調べようしたりすること。これが『自分らしさを育てる勉強』のスタートです。

もう一つ例をあげましょう。ゲームばかりやっている人がおうちの人々に注意されて「いやいや、ぼくはプロのゲーマーをめざしているから、これはそのための訓練だ。」と言いくつれいをするといった話をよく聞きます。でも、これも同じで、ただゲームをプレイすることだけでは『自分らしさを育てる勉強』とはいえません。そこにも『自分の考え方』が生まれていないからです。「いやいや、ぼくは『どうやったらクリアできるかな』など考えながらやつ

ているよ。」というかもしれません。確かにそれも自分の考え方かもしれませんが、そもそもゲームを楽しむということは、それをクリアしていくことなのですから、『どうすればクリアできるか考える』というのは自分の考えではなくて『ゲームに考えさせられている』だけです。では、どうすればゲームが『自分らしさを育てる勉強』にできるでしょうか？『自分で攻略本を作る。』とか『この場面はどのようなプログラムでできているのかを考える。』などに本気で取り組めば、それはもうりっぱな勉強と言つていいのではないですか。このようなことをこつこつとやっていくことが、プロのゲームを育てるのだとおもいます。

ユーチューブやゲームを例に出したので、「けっきょく先生もユーチューブやゲームはあんっていいいんやろ。」と思われるかもしれません、決してそうではありません。どれだけ見続けても、ただ見ているだけでは絶対にユーチューバーにはなれません。どれだけ長時間プレイしても、ただプレイしているだけでは絶対にプログラマーにはなれません。宇宙もそう、ただ夜空をながめるだけでは宇宙への思いは広がったり深まったりしないでしょう

大切なことは『自分の好きなこと』に楽しませてもらっているだけではなくて、『自分の好きなことについてもっと知りたい、自分で工夫してみたい』という『自分の考え方』をもとに『好きなこと』に取り組むことなしには、自分らしさを育てるものにはならないですからね。

ということなのです。

長くなってしまったが、何でもかまいません、自分の好きなことを勉強として取り組んでみてください。「自宅学習」「自分勉強」なのですから、1回で終わらなくとも、ノート1ページで終わらなくともかまいません。『毎日同じ時刻に月がどこにどんな形ででているかを調べる』というテーマに取り組もうとすれば1ヶ月かかります。それでもいいのです。毎日『ここに、この形。』と書き入れるだけなら1分もかからないでしょう。でも、これを30日続けるなかで、きっといろんなことを思つたり感じたりすると思います。これが学習の豊かさであり、この『一つ一つの思いの積み重ね』が自分を豊かにしてくれます。こんなことをしてもテストの点は上がらないかもしれません。でも、そんなことは関係ないのです。好きなことについて、少し深く考えてみる。そんな習慣を身につけてほしいです。

さいごに『勉強のすすめ』

「みんながやる勉強」と「自分らしさを育てる勉強」についてお話ししてきました。どうしてこの話をしようと思ったかというと、「勉強はやらされるもの。」という考え方を変えてほしかったからです。もちろん、勉強の中には『やらされる』ものもあります。そのところは、大人になるために、イヤでもがんばってください。ただ、勉強はそれだけではないのだということ。好きなことを、楽しく学んで、そして自分を豊かにしてくれる、そんな勉強もあるんだ、楽しい勉強は家のほうが自由にできるんだ。ということを知つてほしかったのです。

先生は、みなさんが小学生のうちに『学ぶことの楽しさを知り、勉強を楽しめる人になってほしい』と心から願っています。

長い、難しい文章に最後まで付き合ってくれて、ありがとう。校長先生。